

ささえりあ三和は熊本市の委託機関で、「城山・高橋・池上」校区にお住いの方々を担当しています。

## 自分の歯でおいしく食べたい！

歯がなくなる原因は主に虫歯と歯周病です。さらに、歯周病は全身のさまざまな病気にかかわっていることがわかってきています。歯とお口のケアを行って、体の健康を保ちましょう。



### 心臓病

歯周病が進むと、その菌が血液に入り込み、心臓の内側の膜につきます。それが炎症を起こして、様々な心臓病の原因になります。

### 脳



### 認知症

歯周病の菌は動脈硬化を進めます。歯周病を防いで動脈硬化を予防すれば、脳血管病（脳出血や脳梗塞）のリスクが減り、脳血管性認知症の危険性も減ります。



### 糖尿病

糖尿病やその一步手前の方は、外敵（菌）を防ぐ免疫力が弱まっています。そのため、歯ぐきの炎症が起きやすく、歯周病が進みやすくなります。



### 肺炎

### 肺炎

歯周病菌など、お口の中の細菌が気管に入り込み、肺炎を起こすことがあります。特に、高齢者や寝たきりの人は、飲み込む力が低下しているので危険です。

### 心臓

### 肺



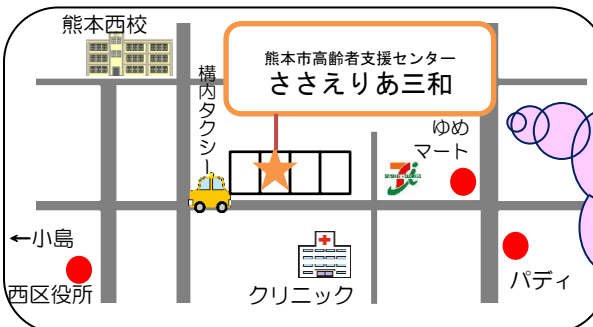
### 骨粗鬆症

骨粗鬆症、すなわち骨が弱くなっている人が歯周病になると、歯を支える骨（歯槽骨）が急速に痩せ、歯ぐきがもろくなってしまいます。



### 癌（がん）

歯周病菌による炎症が長く続くと、正常細胞に異常を来たし、発癌に結びつくことも考えられています。



高齢者やご家族、ご近所の方など、どなたでもお気軽にご相談ください。

☎329-6743

### 歯周病



歯周病菌が歯や歯槽骨を溶かしてしまう病気が歯周病です。歯周病菌のかたまりだと言われている歯垢（プラーク）は、ねばねばと歯間、歯ぐき等に付着し、いろいろな病気の原因になるだけでなく、いやな口臭の原因にもなります。